

取扱説明書
SHIMANO

このたびはシマノメタニウム MgDCをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
メタニウム MgDCは、グローバルスタンダードとしてのサイズで精度・信頼性とキャストビリティの究極を追求しました。
また、淡水のみならず海での使用も可能とするために、S A-RBをはじめとする耐蝕性の高い部品で構成されています。
メタニウム MgDCの機能を十分に引き出し末永くご愛用いただくために、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 ※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。	TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 埼玉営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1	TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17	TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21	TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77	TEL.(072)223-3920
株式会社シマノ 中四国営業所 〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18	TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6	TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部
本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル ☎0120-861130(ハローイサオ)をご利用下さい。
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00(土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (150410) [045]

■各部の名称と特徴 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■立体プレス加工40mmハンドル

軽量化と強度と美しさのために立体プレスで仕上げ、ハンドルグリップ軸には強化カシメ工程を加えました。
(#DC7は42mmハンドル)

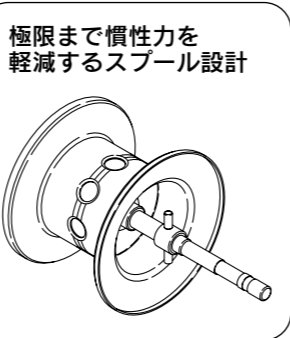
■錆/塩害に強いボールベアリング
シールドタイプ S A-RB 内蔵

S A-RBは、従来のA-RBの側面に防錆素材でシーリングし、塩分の浸入を減少。A-RB処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による"塩害"をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

S A-RB

■マグナムライトスプール

超々ジュラルミンで可能な限りムダを削ぎ落とし、敏感な立ち上がりを確保したマグナムライトスプール。エッジは極限まで削り込まれていますが、取り外した際の取り扱いは充分にご注意ください。
※スプールを取り外す際は、分解方法を参照下さい。



■クイックファイア II

クラッチフリー操作と同時にスプールをサミングできるシステムです。ムダな操作がなくなり、チャンスを逃がさずにキャストできます。

■エスケープハッチ機構

スピールの着脱をワンタッチで可能にするエスケープハッチ機構。レバーを押し下げることで、本体Bのロックが解除され、開くことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが上がついてロックされている状態にしてください。

■I-DC 4 (インテリジェントデジタルコントロール4モードブレーキシステム)

リール内部に組み込まれたI-DCシステム(電子回路)によってキャスト時のブレーキ設定を最適な値に自動でコントロール。新しい4つのブレーキパターンによりあらゆるシーンに対応します。

I-L	Intelligent - Long Distance mode
I-M	Intelligent - Middle Distance mode
I-A	Intelligent - All Round mode
I-W	Intelligent - Wind mode

※詳細は下記を参照下さい。



■仕様

機種名	商品コード	製品コード	ギア比	標準自重(g)	最大ドラッグ力(N/kg)	ベアリング数(S A-RB/ローラー)	糸巻量(号-m)
METANIUM MgDC	02222	RH540000	6.2:1	195	49.0/5.0	8/1	3-120 3.5-100
METANIUM MgDC 左	02223	RH541000					
METANIUM MgDC7	02224	RH542000	7.0:1				4-85 5-70
METANIUM MgDC7 左	02225	RH543000					

■マグネシウムボディ&フレーム

軽量かつ高剛性を実現したマグネシウム素材によるフレームを採用しています。独自の表面処理により、海での使用も可能にしました。裏面「リールのお取り扱い上の注意・メンテナンス方法」もご覧ください。

■スーパーストッパー

ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。

■スタードラグ

ハンドル側から見て、時計回りに(レフトハンドルは反時計回りに)回すことでドラッグが締まります。カーボンワッシャの採用で耐水性とスムーズさを、そしてアルミコールドフォージング(冷間鍛造)により剛性を向上。また、新形状スタードラグデザインにより指へのフィット感を高めています。

■スーパーシップ+ハイスピードギア7:1
(超々ジュラルミン大口径ドライブギア搭載)

S A-RBをスプール軸3個・ハンドルグリップ各2個・ドライブギア軸に1個搭載することにより、さらにスムーズで軽い巻き上げが可能になりました。(※ハイスピードギアはMgDC7のみ)

■右(または左)ハンドル専用形状・S A-RB入りハンドルグリップ

右手(左ハンドルは左手)でつまむことを前提とした、異形状でフィット感の向上と疲労を軽減。グリップにはそれぞれS A-RBを2個内蔵しています。

■0.35mmマイクロピッチ
ビッグサイズキャストコントロールツマミ

キャストコントロールはスピールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスピールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。0.35mmマイクロピッチで微妙な調整を可能にします。

■ロープロファイルボディ

パーミング性、キャスト性能に求められる形を追求し、設計されています。

■テーパードレベルウィンド

スプール側の径をテーパーを付けて広げることで、ラインの通過抵抗を軽減しました。

- ナイロン糸の標準直径(m/m) ※銘柄により太さ表示は異なる場合があります。
3号(12lb)-φ0.285 3.5号(14lb)-φ0.310 4号(16lb)-φ0.330 5号(20lb)-φ0.370
- 製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- メタニウム MgDCではベアリングに新設計のシールドタイプ S A-RBを採用。従来のA-RBの側面に防錆素材でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による"塩害"をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。
- 標準付属品 取扱説明書・分解図・専用リール袋・専用レンチ・脚保護シート(2枚一組)・オイル

■4パターンのブレーキモード

●I-LONG DISTANCE MODE

比重の軽いラインを使用し、追い風の恵まれた条件においてスプーン、メタルジグ、バイブレーションなどの空気抵抗が少なく重いルアーを超遠投するためのロングディスタンスモードです。キャスト直後のエネルギーを極限まで利用し、最大回転数を可能な限り高め、さらに中盤以降をほとんどフリーにして飛距離を伸ばすブレーキ設定です。

●I-MIDDLE DISTANCE MODE

重心移動式プラグやペンシルベイト、バイブレーションなど空気抵抗の少ないプラグで快適に遠投できる設定となっております。キャスト直後のオーバーランを抑えつつ、中盤以降を上手く補正してギリギリのところでバックラッシュさせずに飛距離を伸ばしてくれます。比重の軽いナイロンラインを使用する場合、このモードを基準に設定してください。

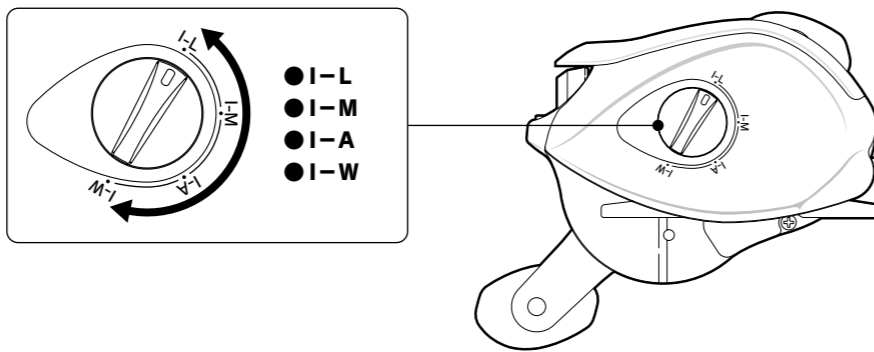
●I-ALL ROUND MODE

キャスト直後のエネルギーを極限まで利用しつつ、後半の伸びを重視したブレーキ設定です。ラインやルアーの種類、風向きを問わず、ほとんどの状況でオールマイティーに使用していただけるブレーキ設定です。比重の重いフロロカーボンラインを使用する場合、このモードを基準に設定してください。

●I-WIND MODE

完全な向かい風によってルアーが失速するような状況でさえも、バックラッシュを抑え飛距離を伸ばす驚異のブレーキモードです。キャスト直後にしっかりとルアーの飛行姿勢を決め、中盤以降はルアーに微かなテンションをかけて飛行姿勢を整えながら距離を伸ばします。飛行中に回転して減速しやすい重心固定ミノーやフラットサイドクランクを向かい風に向かって投げる場合に最適です。ピッチングやスキッピングなどでも低回転からしっかりとバックラッシュを防止します。

※メタニウム MgDCではDCブレーキが働くため、キャストコントロールツマミはスプールにガタのない程度で設定でご使用下さい。
※キャスト後半に糸がふくらむ場合がありますが、その際はキャストコントロールツマミを少し締めてご使用ください。



■より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

●糸の重さによる慣性、惰性

ナイロンとフロロカーボンラインでは比重が大きく異なります。フロロカーボンラインではスプール回転の立ち上がりが遅く、逆に回転の惰性が長引くため、ルアーが減速を始めた段階でのオーバーランを引き起こしやすくなります。(簡単に言えば、重いスプールを使っている状態に近くなります。)

そのためナイロンライン使用時には**I-M**を基準に、フロロカーボンライン使用時には、**I-A**モードに切り替えて使用し、感覚をつかんでから他モードへ切り替えてください。また、細糸使用時などに下巻きラインを巻く場合は、より軽量のナイロンもしくはPEのご使用をお勧めします。

●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン(スプールの95%糸巻き量)の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強く効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーパ面のエッジ(右記●糸巻き量のご注意 図参照)に合わせた糸巻き量でご使用下さい。

●糸の太さ、スプール回転数

糸の太さによって、キャスト時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強かかりやすい傾向があります。

●ベアリングの回転状態、汚れ

メタニウム MgDC のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが効きすぎるように感じる場合がありますのでご注意ください。(多少のベアリング汚れ等であれば、ブレーキを若干緩めることで対処できます。)

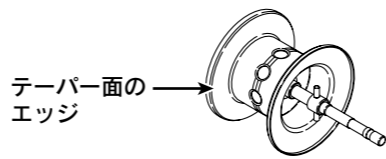
●風向、風力

風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。

向かい風で使用される際は**I-W**モード、もしくは**I-A**モードをご使用ください。

●糸巻き量のご注意

ブレーキ設定はスプールのテーパ面のエッジ(右図矢印)までの糸巻き量で行っています。それよりも多く巻くとブレーキの効きは弱くなり、少なく巻くと強くなります。

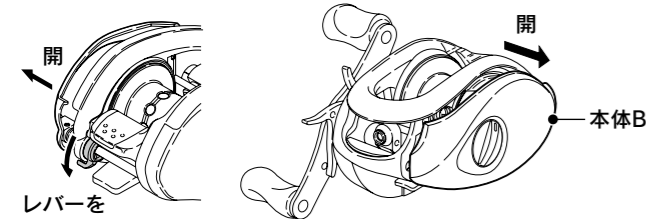


※高速リトリーブ中など、ハンドルを高速回転させた場合に DC ブレーキの作動音がする場合がありますが、故障ではありません。

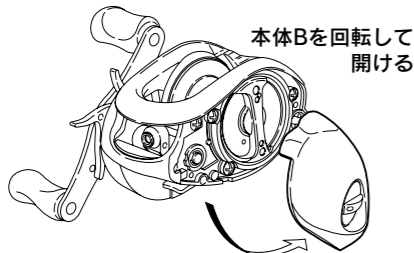
■スプールを取り出す際の分解方法

※ライトハンドルのイラストで説明しています。

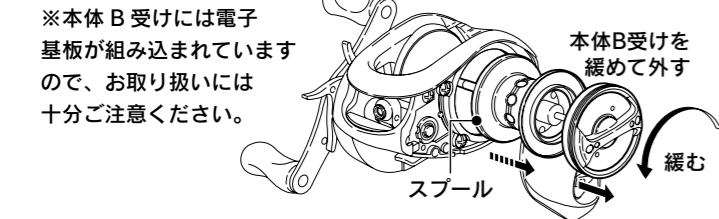
1. エスケープハッチレバーを下けると本体 B が開きます。



2. 本体 B 全体を、支点を軸に回転(スライド)させて開きます。



3. 本体 B 受けを反時計回りに回して取り外し、スプールを傷付けないように抜き取ってください。

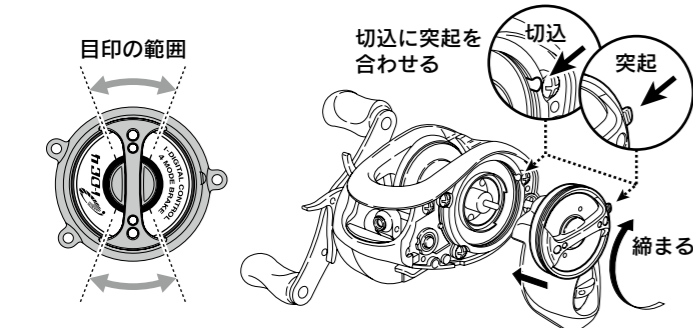


※本体 B 受けには電子基板が組み込まれているので、お取り扱いには十分ご注意ください。

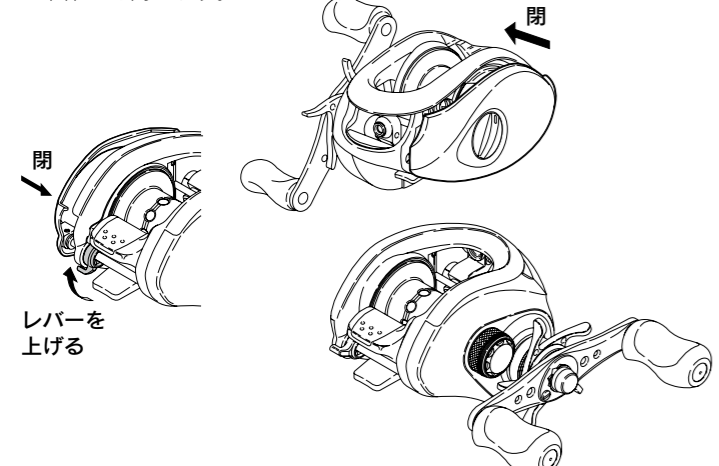


4. スプールの着脱が完了しましたら、逆の手順で取り付けます。本体 B 受けを取り付ける際は、本体 B 受けの突起を本体 B 受けの切り込み目印に合わせてセットし、時計回りに回してください。

その際、下左図の様に本体 B 受けの取っ手部分が、目印の範囲内に収まる様注意してねじ込んでください。



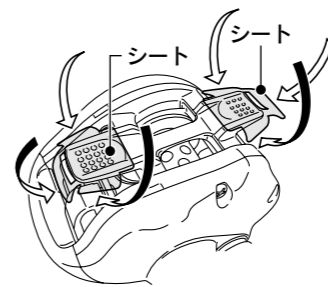
5. 本体 B を元の位置に収め、エスケープハッチレバーを上げて本体 B を閉じます。



■リール脚保護シートの使用方法

メタニウム MgDC を装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。

リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。

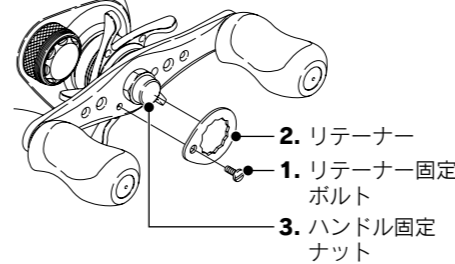


■ハンドル着脱時のご注意

ハンドルの着脱をされる場合は次の手順で行ってください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. リテーナー固定ボルトを外す。
2. リテーナーを外す。
3. ハンドル固定ナットを付属のレンチで外す。

※取り付け時は逆の順番で行ってください。



■メンテナンス方法 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

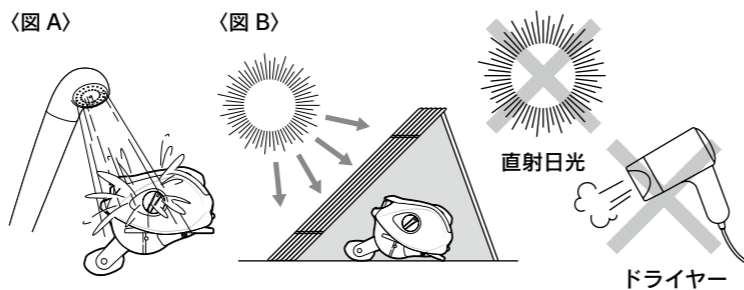
■海での使用後のご注意

メタニウム MgDC は海での使用を前提とした防錆処理を加えていますが、より長く性能を維持するため、以下のことにご注意下さい。

- リールに付着した塩分、ゴミ等は真水に浸した柔らかい布できれいに拭き取って十分に乾燥させて下さい。いちじるしく海水が浸入したと思われる場合は、当社アフターサービスへオーバーホールとしてお預けいただくことをおすすめします。

■海での使用後の基本的なメンテナンス順序

1. 水洗い…ドラッグをしめ込んでから、シャワー等の真水で 1~2 分間水洗いしてください。(図 A) スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。 ※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けてください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
2. 乾燥…ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図 B) ※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
3. オイル注油…後記「オイル注油箇所」の図で示す部分に、ごく少量オイルを注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。



●お願い

- ・リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、**直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に 1 度はお預けいただくこと**をおすすめいたします。**お買い上げの販売店にてお受けしております。**
 - ・リールを水没させ数時間放置しますと、ドラッググリスが水に流れ出てしまいます。ご注意ください。
 - ・オイル、グリス類は**当社指定のもの**(SP-003H、SP-013A、SP-023A)をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。
 - ・釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
 - ・ハンドルグリップには滑りにくい樹脂素材を採用していますが、油によって膨潤する場合があります。ベアリングのメンテナンスの際には、なるべく油分(ハンタムオイルなど)が付かない様にご注意下さい。また油分が付着した場合には、速やかに拭き取って下さい。
 - ・S A-RB(シールド耐塩水ベアリング)は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する(塩噛み)のを防ぐものではありません。
- ※船べりに立てた場合、エスケープハッチレバーがロッドホルダーに当たり、破損する場合がございますので、ご注意ください。

●ベアリングの塩噛みについて

基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残リ、乾燥して塩噛みを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を払拭する事は殆ど出来ません。例え S A-RB であっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意ください。

■水没した際の応急処置

1. 水抜き…内部に浸入した水を抜いてください。
2. 水洗い…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
3. 乾燥…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
4. オイル注油…後記「オイル注油箇所」をご参照ください。オイルの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。 ※長く噴霧させると逆流します。**決してグリススプレーは使用しないでください。**

●お願い

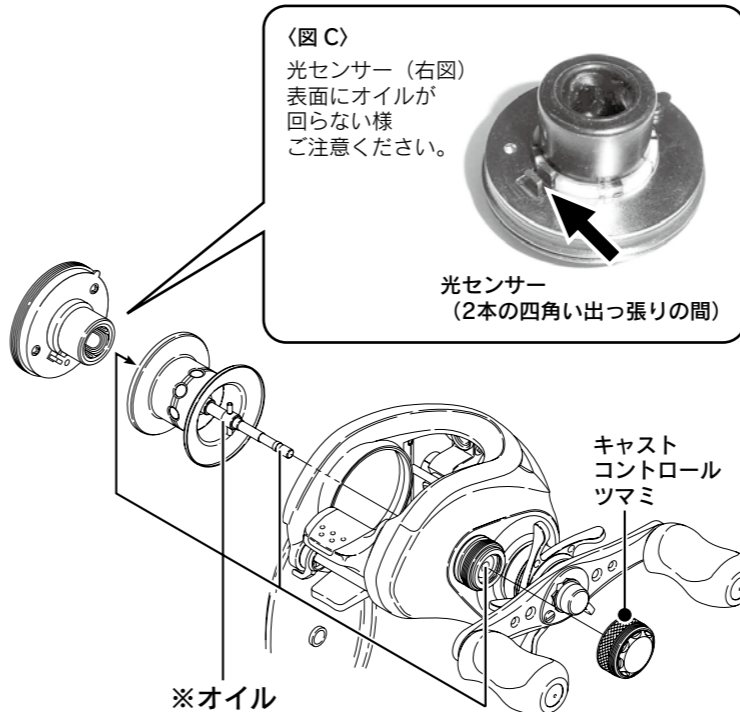
以上はあくまで応急処置です。**不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、お買い上げの販売店にお預けください。** ※メンテナンス価格はおよそ ¥3,500 プラス部品代になりますが、状態によって異なります。

■オイル噴霧箇所

メタニウム MgDC の優れた性能を長く維持するために、図の※印の箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールメンテスプレー(セット) SP-003H のオイルスプレー、シマノリールオイルスプレー SP-013A をまじかえないように噴霧してください。(シマノ以外のオイルは使用しないでください。) オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※キャストコントロールツマミは微調整を可能にするため、繊細なマイクロピッチスクリュー加工が施されています。そのため再取り付け時にはネジ山をつぶさない様、確実にネジ山がかみ合ったことを確認の上、ねじ込んでください。

※メンテナンス時、基盤表面にオイルなどを塗布されますと、機能異常を生じる場合がございます。特に(図 C)の矢印で示す光センサー表面には、オイルが回らない様ご注意ください。



■安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	●糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。
	●ハンドルとボディの間に手をはさまと、けがをするおそれがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

■リールのお取り扱いの注意

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意

砂・泥・泥水はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には竿やリールで無理にあおらないで手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。船べりに立てた場合、エスケープハッチレバーがロッドホルダーに当たり、破損する場合がございますので、ご注意ください。

●お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラッグ部分には、絶対にオイルを付けしないでください。オイルが入ると、ドラッグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

●リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが動かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り扱い方法は分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

(例/商品名: ステラ 1000S 商品コード: 02080 製品コード: SD34B012 部品番号: 2 部品名: スプール)

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない場合がございます。

●商品コード/製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面に製品コードの上 5 ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

